

なぜ歯医者さんは往診してくれないのでしょうか。足腰が弱った高齢の方にとって、歯科医院に何回も通院することはなかなかできません。歯科医に往診は頼みづらいものです。なぜでしょう。

一、診療体制ができていない。

二、大きな機械は持ち運びができません。

三、内科医が往診用カバンひとつで気軽に往診できるのに対して、歯科医は器材の多さとそれらの消毒のために、準備が大変。

四、患者さんの全身状態の情報が得られにくい。

などの様々な理由がありました。

今、行政と歯科医師会は、高齢化社会を迎えて自宅で療養される方が多くなり、その人たちのQOL（生活の質）を向上させることがこれからの課題になっています。

厚生省と日本歯科医師会は、昭和六十三年に全国七カ所にモデル地区を設けて、市町村と地区の歯

39人に延べ46回

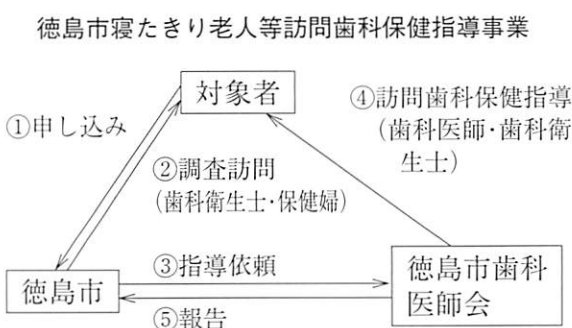
科医師会が協力して行う在宅寝たきり老人歯科保健推進事業をスタートさせました。

現在約三千の市町村のうち約六百の自治体でいろいろな形で行われるようになりました。専用の診療所を作って寝台車で患者さんを運んでくる方法、歯科の器材を満

載した診療車を作り、患者の前まで運ぶ方法、訪問診療用の器材を貸与したり、補助金を出す方法など、いろいろな方法が実施されています。また運びやすい専用器材の開発や内科の主治医との連携方法など、いままでも障壁になっていた点がこの十年でかなり改善され

徳島市「85%がよかった」

てきました。



問い合わせ先 徳島市保健予防課 21-5208
対象者は40歳以上の徳島市民で、自宅療養中の寝たきり又はそれに準ずる方です。

さて徳島市では、平成七年度から県内では初めて、徳島市保健予防課と徳島市歯科医師会の共同事業として、徳島市在宅寝たきり老人等訪問歯科保健指導事業が始まりました。別表のような流れで行われています。介護をされる方は、「しも」の世話には慣れていても口の中は触ったことがないとか、この数年入れ歯をはずして洗ったことがないという方が結構いら



入れ歯の汚れと洗いを介護の方に説明する

るようです。口の中が不潔になると、歯の問題だけでなく、カンジダというカビがはびこり、肺炎の原因にもなっています。歯が一本もなく入れ歯もいれてないという方でも、口の中を清潔にしてあげることが非常に大切です。

平成七年七月から始まったこの事業は年度末の八年三月までの九カ月間に三十九人の方に延べ四十六回の訪問指導を行いました。訪問後のアンケート調査の結果八五%の方から「よかった」という感想をいただいています。

(徳島市歯科医師会)